

夢に向かってⅢ



岱明中学校だより



学校教育目標

郷土に誇りを持ち
夢に向かって挑戦する児童生徒の育成

岱明中学校HP

令和6年1月12日

文責：上田

新年明けまして おめでとうございます

冬休み明けの全校集会では、まず能登地震の発生を受けて全員で黙とうを行い、亡くなられた方々のご冥福と1日も早い復興を祈りました。被災された方々を思うとき、夜に眠り朝に目覚め、登校して友達と会い勉強するという普通で当たり前できていることが、実は当たり前ではなくて幸せなことであり、感謝すべきことだという話をしました。関連して私の好きな次の言葉も紹介しました。



「幸せは気づいたときから始まる」

自分が恵まれていること、幸せであることに「気づくこと」が幸せの始まりだということです。私もそう思います。

●自分の【得意】を磨こう！ 【好き】を伸ばそう！



テスト勉強は自分の苦手教科、つまり自分の弱点に力を入れた方がよい結果につながりやすくなります。しかし1年の抱負を考えると、弱点克服もいいのですが、自分の得意なことに着目し、それに磨きをかけるといふ発想もよいのではないのでしょうか。勉強や運動に限らず、人の良さは十人十色です。自分の良さに気づきそれを大切にして、そこを磨いていこうと冬休み明けの集会で話しました。



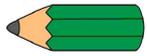
●成長を感じる修学旅行

- 想像する力
- 進んで学ぶ力
- 自分を律する力



先月には2年生の修学旅行が実施されました。行先は奈良・京都でした。天気が心配でしたが、雲はあっても傘を使うことなく充実したものになりました。2日目は班別自主行動でしたが、一番最後にホテルに帰着した班でも、予定時刻の5分前でした。途中では計画通りに行かなかったことも多々あったようですが、それでもそれぞれの班が臨機応変に対応したからこそできたことです。岱明中が目指す3つの力が育ってきてることを感じました。

●人権作文コンクール 県でも高評価



今年の人権作文コンクールでは県全体で2万5千点の応募があったそうですが、玉名荒尾地区の代表となっていた本校の2名の作品が県の審査でも素晴らしい評価を受け受賞を果たしました。

このような文章が書けたことは本人の思考力・文章力があつてのことですが、そこに周りの温かな生徒たちやご家族の存在も感じられ、なおのことうれしく思いました。地域の方々からお祝いのお電話を頂きました。

★最優秀賞

「ずっと言えなかったこと」 2年猿本さん

★熊本日日新聞社賞

「祖父が教えてくれたこと」 2年徳山くん

●生徒会役員が決まりました

立会演説会ではすべての候補者の演説を聞きましたが、生徒会をリードする先輩役員の方にあこがれを持ったことが立候補の動機にもなったようです。先輩の「貢献する姿」にあこがれを感じてくれたことをうれしく思いました。惜しくも四役にならなかった生徒たちも、やる気とリーダー性のある人ばかりでした。新四役とともに生徒会を支えてくれるに違いないと期待しています。もちろん新四役の活躍も楽しみです。先輩からのバトンをしっかり受け取ってください。



- 会長) 城戸くん
- 副会長) 藤田くん、嶋津さん
- 会計) 濱崎くん、谷野さん
- 書記) 浦田くん、村田さん

●花生けをお願いしました ～地域からのボランティア～

校舎内にも潤いのある環境を作りたいと思い、生徒昇降口や玄関など数か所に毎週花を飾っています。この花生けを地域の方にお願ひできないかと考え、地域学校協働活動推進員の松井さんに探してもらったところ、【馬淵さん】、【中山さん】のお二人が引き受けてくださいました。さっそく12月から月曜日に生けてもらっています。

お二人とお話をしたところ、生徒たちからいつも気持ちのよいあいさつをもらうので、自分たちも学校の役に立ちたいとおっしゃいました。やはり気持ちのよいあいさつは地域への「貢献」なんですね。お二人には大変お世話になります。ありがとうございます。

